

令和3年度 農作物病虫害発生予察3月月報

令和4年(2022年)4月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
3.1	7.2	7.4	△ 0.2	13.5	13.1	0.4	1.6	2.3	△ 0.7
3.2	6.6	7.8	△ 1.2	14.4	13.8	0.6	-0.4	2.6	△ 3.0
3.3	14.6	8.5	6.1	21.4	14.7	6.7	9.1	3.0	6.1
3.4	11.7	9.3	2.4	17.7	15.5	2.2	6.6	3.8	2.8
3.5	9.7	9.9	△ 0.2	15.9	16.0	△ 0.1	4.5	4.4	0.1
3.6	14.2	10.7	3.5	18.0	16.8	1.2	10.6	5.2	5.4
平均・計	10.7	8.9	1.7	16.8	15.0	1.8	5.3	3.6	1.8
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
3.1	10.5	21.0	△ 10.5	27.8	23.1	4.7			
3.2	0.0	22.3	△ 22.3	38.9	24.3	14.6			
3.3	4.0	23.5	△ 19.5	24.3	25.6	△ 1.3			
3.4	49.0	25.4	23.6	21.9	26.2	△ 4.3			
3.5	20.5	25.8	△ 5.3	25.9	26.5	△ 0.6			
3.6	70.0	29.8	40.2	19.8	33.0	△ 13.2			
平均・計	154.0	147.8	6.2	158.6	158.7	△ 0.1			

II 作物の生育状況

コムギ : 生育は順調で、出穂期は概ね平年並みの見込みである。(昨年よりやや遅い)

イチゴ : 昨年に比べてバラツキはあるが、第3～4果房が収穫時期、第5果房が開花など、生育はやや旺盛に推移している。

タマネギ : 平年に比べて年末からの平均気温が低く推移しており、生育は昨年に比べ遅れている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作

2022年3月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
コムギ (調査ほ場数:17) うどんこ病、縞萎縮病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
黄斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平年15.3%)、発病茎率4.2%(平年6.1%)、発病度1.1(平年1.4)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 91

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.5%)、発病葉率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8%(平年14.0%)、発病葉率1.1%(平年0.8%)、発病度0.3(平年0.4)、発病葉枝率0.7%(平年1.3%)で平年並みであった。	県内全域	少 172
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5%(平年17.5%)、寄生葉率0.4%(平年1.1%)で平年並みであった。	県内全域	少 115
ナシ (調査ほ場数:8) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率37.5%(平年30.2%)、発病枝率0.3%(平年0.2%)、発病芽率0.1%(平年0.2%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 29

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数:19) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8%(平年10.0%)、発病株率0.3%(平年1.5%)、発病葉率0.1%(平年0.6%)、発病果率0.0%(平年0.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 15
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6%(平年13.0%)、発病株率2.8%(平年1.3%)、発病果率0.6%(平年0.2%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 10 少 20 計 30
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

2022年3月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年20.9%)、寄生株率0.8% (平年1.7%) で平年並みであった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 30
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年44.9%)、寄生株率5.6% (平年16.2%) で平年に比べやや少なかった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	中 5
			少 25
			計 30
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.8% (平年33.3%)、寄生株率8.5% (平年9.8%) で平年並みであった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	甚 5
			中 5
			少 25
			計 35
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.6% (平年26.0%)、寄生花率7.0% (平年3.4%) で平年に比べ多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚 15
			中 15
			少 20
			計 50
タマネギ (調査ほ場数:28) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年5.0)、発病株率0.1% (平年0.5%)、1a 当たり調査では、越年り病株 (一次感染株) の発生ほ場率21.4% (平年7.5%)、発病株数1.1 (平年1.7) で平年に比べやや多かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年5.7%)、発病株率0.1% (平年0.4%)、1a 当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率25.0% (平年10.0%)、発病株数1.9 (平年0.6) で平年に比べ多かった。3月17日、山口市大内御堀の県予察ほで2次感染株の初発生を認めた。	県内全域	少 47
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.9%)、発病株率0% (平年0.8%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率0% (平年8.6%)、発病株数0 (平年12.0) で平年並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.4%)、発病株率0% (平年0.5%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率0% (平年12.5%)、発病株数0 (平年4.5) で平年に比べやや少なかった。	—	—

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ 腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年2.9%)、発病株率0.1% (平年0.1%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率3.6% (平年10.0%)、発病株数0.1 (平年0.4) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年3.2%)、発病株率0.8% (平年0.2%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率7.1% (平年14.7%)、発病株数0.4 (平年1.1) で平年並みであった。	県内全域	中 7 少 7 計 14
ボトリチス属菌 による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.1%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
軟腐病、萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先 山口県病虫害防除所
TEL (083)927-4006
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp